

# 禅寺のしつらい

伽藍再建にあたって  
仏具篤志寄付のお願い



臨濟宗妙心寺派  
大廣山 圓福寺



## 「禪寺のしつらい」発行にあたって

圓福寺再建にあたり、建物の基本設計や建設のための資金計画を立ててまいりましたが、お寺としては建物だけでは機能いたしません。「がらんどろ」とは言うものの、必要最低限のものはそろえなければ、法要も行事も執り行うことはできません。

火災後に、臨濟宗のお寺を探してこられた方がいらっしやいました。火事に遭った事情をお話しいたしましたが、最後に、「本尊さんもないような寺じゃしょうがないなあ。」と行って帰られました。すべてを焼失した無念さに追い打ちをかけるような言葉でしたが、あとあとよく考えてみると、その人は既存のものから恩恵をもらおう、得して当たり前だという考えなのだと気づきました。お寺には歴史があり、いわれがあり、これまでたくさんの檀信徒の皆さんのご縁があつて成り立ってきたものです。それを考えると、「本尊さんもないような・・・。」と言うのは間違いで、「それなら、私が寄付しましょうか。」というのが本当だろうなと考え至りました。

そこで、伽藍再建の寄付金とは別に、仏具什具のご寄付をお願い申し上げる次第ですが、お気持ちがおありでも何を寄付すればいいのか、寄付したいと思ってもいくらぐらいするのかわからないというのではいけないと思い、必要不可欠な仏具什具の一覧をお示しさせていただきます。なにとぞ、格段のお志をもって、ご寄付いただければ幸いです。

なお、ご寄付に限らず、この小冊子をご覧いただいて、臨濟宗で使う仏具にはどんなものがあるか、どんな時にどう使うのか、どんな飾り方をするのかなどを知って、さらにお寺に親しみ興味をお持ちいただければ何よりでございます。



# 1、建物の名称と 仏像仏具一覧

臨濟宗のお寺で祀られる仏像や、しつらえられる仏具を、その場所ごとにまとめさせていただきました。これだけのものが、法要や行事を勤めるために必要となります。

## 須弥壇(しゅみだん)



### 須弥壇

#### 仏像

- ・釈迦三尊像
- ・達磨大師像
- ・観音菩薩立像
- ・地藏菩薩立像
- ・釈迦苦行像
- ・文殊菩薩像

#### 位牌

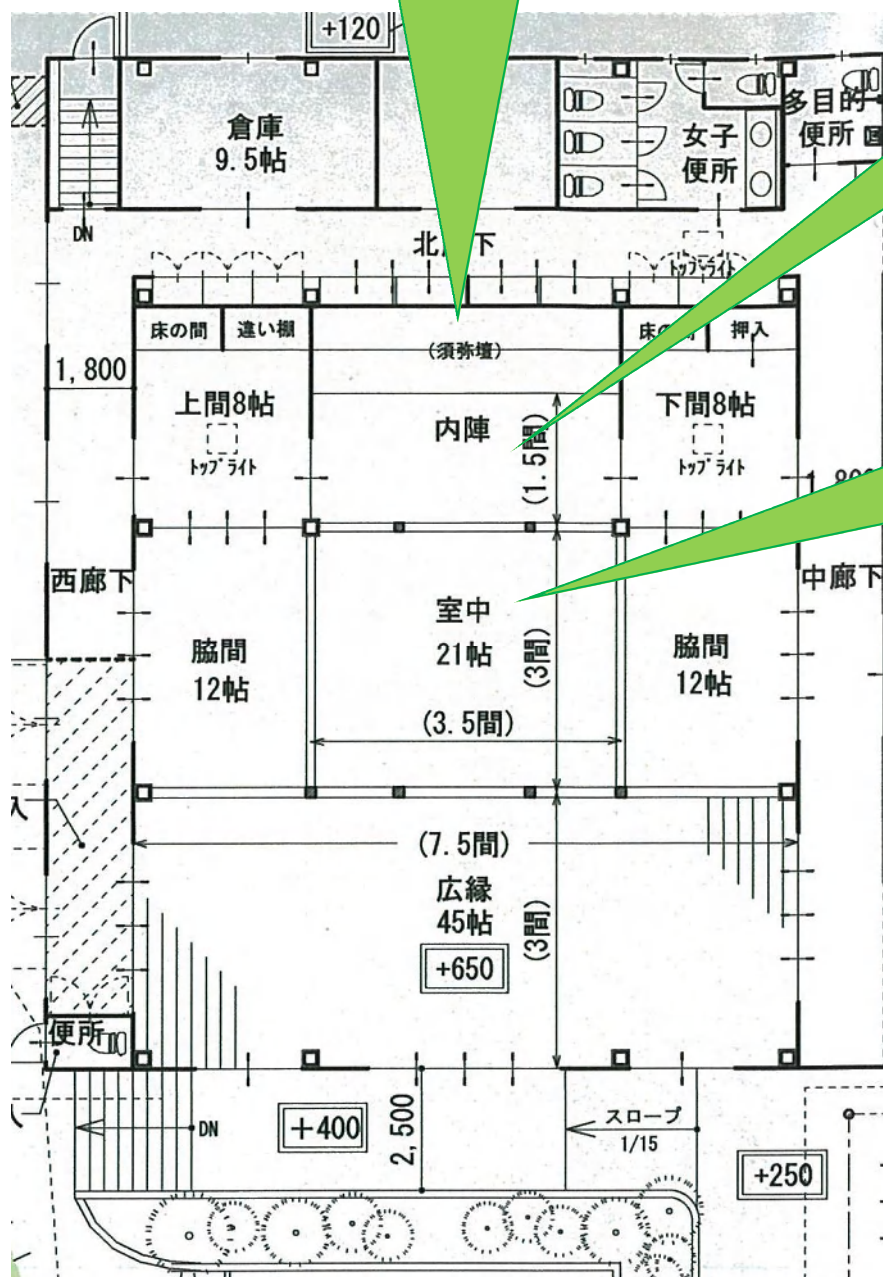
- ・今上皇帝聖壽萬安
- ・大檀那本命元辰
- ・南方火徳聖君火部聖衆
- ・歴代位牌
- ・祖師位牌
- ・三界萬霊
- ・花園会員先亡位牌
- ・涅槃精舎位牌

#### 掛け軸

- ・十六善神
- ・涅槃図

#### 仏具

- ・須弥壇水引
- ・壇引き
- ・常夜灯
- ・五具足
- ・三具足2組
- ・献茶湯器
- ・高坏
- ・柄香炉
- ・三宝



※この図は、基本設計平面図の本堂部分を抜粋したものです。

## 内陣(ないじん)



## 内陣

### 仏具

- ・前机
- ・中央香台
- ・常花
- ・水引、戸張
- ・三角打敷
- ・五具足
- ・角香炉
- ・中央香台香炉

そのお寺の本尊様を祀っている場所を内陣といいます。臨済宗のお寺で一番神聖な場所で、この場所には仏様へのお供えをする特別な僧侶しか入ることは許されません。

## 室中(しっちゅう)



内陣の手前の間を「室中」といい、中央が導師や住職の座る場所となっています。室中の右下座が、お経を詠み始めたり、鳴らし物をしたりする「維那(いのう)」という役の席となります。

木魚の役がいる場合には、左下座に木魚を配します。

## 室中

### 導師仏具

- ・拝敷
- ・導師見台
- ・導師経机
- ・曲録
- ・拂子

### 維那仏具

- ・見台
- ・経机
- ・大磬
- ・小磬
- ・玉鱗

### 鳴らし物

- ・引金
- ・懺法太鼓
- ・鏡鈸

## その他本堂

### 仏具

- ・施餓鬼棚
- ・施餓鬼幡
- ・四十九院幡
- ・五色幕
- ・施餓鬼桶
- ・法鼓
- ・法鼓台
- ・木版

### その他

- ・玄関幕
- ・毛氈
- ・賽銭箱
- ・単布団
- ・二人掛け椅子
- ・一人掛け椅子

## 書院ほか

### 仏像

- ・韋駄天
- ・烏枢沙摩明王像
- ・跋陀婆羅菩薩像

### 什具

- ・紫座布団
- ・座卓
- ・座布団
- ・テーブル
- ・椅子



# II、仏像仏具のご紹介

前頁の仏像仏具一覧の中から、抜粋した仏像や仏具の材質や大きさ、用途、だいたいの価格などをご紹介します。

伝統的な技法でしか作れないものや、今でも手仕事で作られるものなど、日本の職人さんの技が生かされているものもたくさんあります。

## 須弥壇

### 仏像

- ・釈迦三尊像
- ・達磨大師像
- ・観音菩薩立像
- ・地蔵菩薩立像
- ・釈迦苦行像
- ・文殊菩薩像

### 位牌

- ・今上皇帝聖壽萬安
- ・大檀那本命元辰
- ・南方火徳聖君火部聖象
- ・歴代位牌
- ・祖師位牌
- ・三界萬靈
- ・花園会員先亡位牌
- ・涅槃精舎位牌

### 掛け軸

- ・十六善神
- ・涅槃図

	ふりがな	しゃかさんぞんぞう	ふりがな	ほんぞんさま
	名称	釈迦三尊像	(別称)	本尊様
	材質	尾州檜や栓などの木材		
	大きさ	身丈1.2尺		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	脇侍として、文殊菩薩普賢菩薩の三体で釈迦三尊像といいます。		
	価格	1,720,000円(以前の購入価格)		

ふりがな	だるまだいしぞう	ふりがな	だるまさん	
名称	達磨大師像	(別称)	だるまさん	
材質	尾州檜や栓などの木材			
大きさ	身丈2尺			
行事	達磨忌(達磨大師のご命日)			
用途	禅宗初祖として祀ります。			
価格	3,000,000円(美術品価格)			

	ふりがな	かんのんぼさつぞう	ふりがな	かんのんさん
	名称	観音菩薩像	(別称)	観音さん
	材質	木彫本金箔押仕上げ		
	大きさ	身丈1.2尺		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	須弥壇左側に祀り、檀信徒位牌壇の本尊としての役割を果たします。		
	価格	900,000~1,500,000円		

ふりがな	しゃかくぎょうぞう	ふりがな		
名称	釈迦苦行像	(別称)		
材質	唐金製青銅色仕上げ			
大きさ	身丈2尺			
行事	成道会			
用途	お釈迦様が苦行の末にお悟りを開かれた			
価格	300,000円			

# 須弥壇

## 仏像

- ・釈迦三尊像
- ・達磨大師像
- ・観音菩薩立像
- ・地藏菩薩立像
- ・釈迦苦行像
- ・文殊菩薩像

## 位牌

- ・今上皇帝聖壽萬安
- ・大檀那本命元辰
- ・南方火徳聖君火部聖衆
- ・歴代位牌
- ・祖師位牌
- ・三界萬霊
- ・花園会員先亡位牌
- ・涅槃精舎位牌

## 掛け軸

- ・十六善神
- ・涅槃図

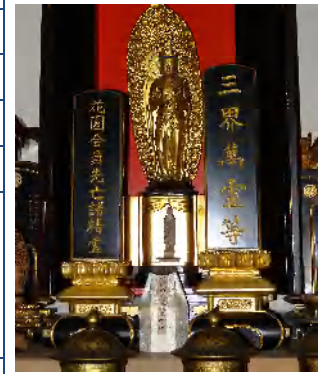
## 仏具

- ・須弥壇水引
- ・壇引き
- ・常夜灯
- ・五具足
- ・三具足2組
- ・献茶湯器
- ・高坏
- ・柄香炉
- ・三宝



ふりがな		ふりがな	
名称	霊牌類	(別称	)
材質	黒塗面本金押		
大きさ	札丈1~1.2尺		
行事	毎日の勤行や各種法要		
用途	三基それぞれ「今上皇帝聖壽萬安」「大檀那本命元辰」「南方火徳聖君火部聖衆」と彫られ、国家の安泰、檀信徒の皆様の安穩、伽藍の鎮静を願う意味が込め		
価格	一基50,000~80,000円		

ふりがな		ふりがな	
名称	霊牌類	(別称	)
材質	黒塗面本金押		
大きさ	札丈1~1.2尺		
行事	毎日の勤行、施餓鬼・彼岸会		
用途	「三界萬霊」の霊牌は、お施餓鬼の折に施餓鬼棚中央に祀られるものです。「花園会員先亡諸精霊」の位牌は、檀信徒の皆様の先亡各霊のお位牌です。		
価格	一基50,000~80,000円		



ふりがな	じゅうろくぜんじん	ふりがな	
名称	十六善神	(別称	)
材質	金襴仏表装の掛け軸		
大きさ	全紙(2.3×4.5尺)		
行事	正月修正会、ご祈祷		
用途	釈迦三尊を取り巻くように、大般若経を守護する十六善神が並んでいます。右下には、大般若経を背負った三蔵法師の姿も見られます。17年もかけてインドから中国に大般若経を持ち帰った三蔵法師の求法の熱意の前に、夜叉や鬼神が改心して、仏法や仏教徒を守る善神になったと言われます。修正会ははじめ、ご祈祷の時		
価格	500,000~1,000,000円(古画)		

ふりがな	ねはんず	ふりがな	
名称	涅槃図	(別称	)
材質	別織本金表装の掛け軸		
大きさ	画寸7×5尺		
行事	涅槃会		
用途	お釈迦様が亡くなられた時の様子を描いたもので、2月15日の涅槃会に本堂に掲げられます。仏教寺院の必需品です。		
価格	1,000,000~2,000,000円(古画)		





# 須弥壇

## 掛け軸

- ・十六善神
- ・涅槃図

## 仏具

- ・須弥壇水引
- ・壇引き
- ・常夜灯
- ・五具足
- ・三具足 2組
- ・献茶湯器
- ・高坏
- ・柄香炉
- ・三宝



ふりがな	さんぼう
名称	三宝
材質	木製で漆の朱塗り
大きさ	6寸～1尺
行事	正月、施餓鬼など
用途	お供え物をのせる仏具です。通常は高坏(たかつき)を使いますが、ご祈祷や施餓鬼、お正月などには、三宝を使います。
価格	1脚20,000円



ふりがな	えごうろ
名称	柄香炉
用途	柄のついた持ち運びできる香炉です。
価格	1脚20,000円

①	ふりがな	みずひき	ふりがな	
	名称	水引	(別称	)
	材質	金襴や錦織、緞子など		
	大きさ	三間半の三流		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	神聖なものの前に、上から下げて結界のような役割をします。それぞれ真ん中に華鬘(けまん)を下げます。すべて注文製作で、専門の職人さんが作ります。		
価格	630,000円(以前の購入価格)			

②	ふりがな	じょうやとう	ふりがな	
	名称	常夜灯	(別称	)
	材質			
	大きさ	総丈4尺		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	須弥壇上に常設しておく台付きの燈籠です。		
価格	一対500,000円			

③	ふりがな	ごぐそく	ふりがな	こうろ、しょくだい、はなたて
	名称	五具足	(別称	香炉、燭台、花立)
	材質	真鍮や唐金などで作られ、様々な形があります。		
	大きさ	それぞれ総丈や口径などでいろいろ		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	中央に香炉、右に燭台、左に花立の場合は、「三具足」(みつぐそく)といい、香炉の両側に燭台、花立とも一対で飾る場合は、「五具足」と言います。本尊様の前を五具足、両側には三具足に		
	価格	50,000～1,000,000円		





# 内陣

## 仏具

- ・前机
- ・中央香台
- ・常花
- ・水引、戸張
- ・三角打敷
- ・五具足
- ・角香炉
- ・中央香台香炉

ふりがな	まえづくえ	ふりがな	
名称	前机	(別称)	
材質	樺すり漆や木製朱塗りなど		
大きさ	巾5~8尺		
行事	毎日の勤行や各種法要		
用途	香・花・燈火をお供えする具足を置く台となります。花は、木彫金箔押の蓮の花を飾るのが一般的です。		
価格	1,000,000~2,000,000円		



ふりがな	みずひき、とちよう	ふりがな	
名称	水引、戸張	(別称)	
材質	金襴や緞子など		
大きさ	三間半三流れ(上の写真)		
行事	毎日の勤行、各種法要		
用途	本尊様を祀る内陣と手前の「室中」(しっちゅう)との結界の役目があり、この中が神聖であることを現しています。		
価格	1,500,000~5,000,000円		



ふりがな	じょうか
名称	常花
用途	前机の花立に飾る金箔押の蓮華です。
価格	1対300,000円~



ふりがな	ちゅうおうこうだい	ふりがな	
名称	中央香台	(別称)	
材質	樺すり漆や木製朱塗りなど		
大きさ	総丈2~3尺		
行事	毎日の勤行や各種法要		
用途	導師焼香用の香炉を置く台です。年回忌法要の時には、参拝の方もここで焼香、お参りをさせていただきます。		
価格	350,000~650,000円		

# 室中

## 導師仏具

- ・拜敷
- ・導師見台
- ・導師經机
- ・曲録
- ・拂子

## 維那仏具

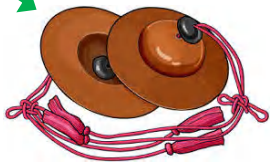
- ・見台
- ・經机
- ・大磬
- ・小磬
- ・玉鱗


## 鳴らし物

- ・引金
- ・懺法太鼓
- ・鏡鈸

	ふりがな	きょくろく	ふりがな	
	名称	曲録	(別称)	
	材質	樺すり漆塗や朱塗りなど		
	大きさ	身丈1.2尺		
	行事	施餓鬼や葬儀など		
	用途	施餓鬼やお葬式の時に、導師が腰かけるための椅子です。背もたれが湾曲して肘掛けと一体になっていて、折り畳み式です。		
価格	200,000～800,000円			

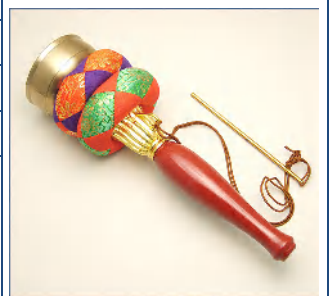
ふりがな	だいけい	ふりがな	けいす
名称	大磬	(別称)	磬子
材質	黄銅手打ちまたは機械打ち		
大きさ	口径5寸～2尺		
行事	読経のとき		
用途	読経始まりと終わり、回向の終わりに打ち鳴らします。磬子(けいす)という字を使うこともあります。小さいものを小磬(しょうけい)、大きいものを大磬といいます。法要の荘厳さを重厚な音色で醸し出します、		
価格	100,000～3,000,000円		



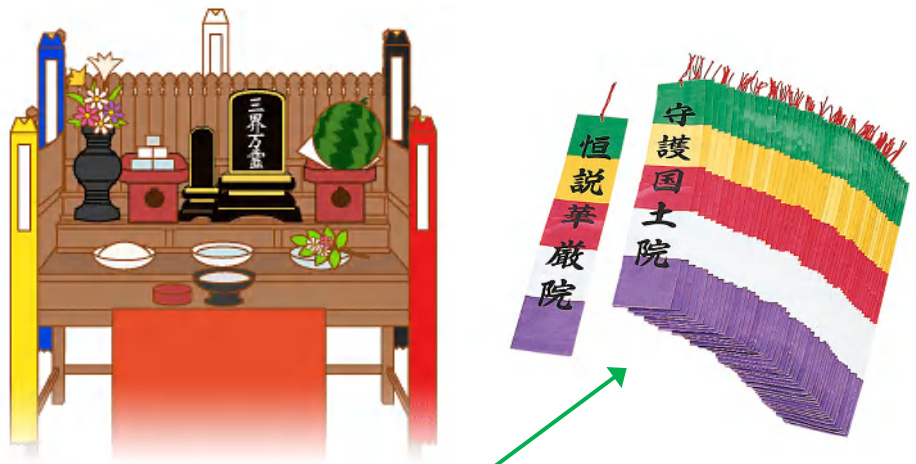
	
ふりがな	せんぼうだいこ
名称	懺法太鼓
材質	胴は樺や塗り。面は無地や雲竜を描く。
大きさ	直径1～1.3尺
行事	施餓鬼、お葬式など
用途	懺悔式に使われる太鼓ですが、転じてお施餓鬼やお葬式でも使われます。引金、鏡鈸と合わせて、「チンボンジャラン」と天上の楽曲の音色を現します。
価格	35,000～12万円

	ふりがな	もくぎょ	ふりがな	ぎょりん
	名称	木魚	(別称)	玉鱗
	材質	楠(くすのき)		
	大きさ	開口部差渡し6寸～2尺		
	行事	毎日の勤行や各種法要		
	用途	クスノキをくりぬいて、表には龍や魚が彫られています。一つ一つ手彫りで作られますが、中でも「玉齋」「玉鱗」の銘が入ったブランド物は有名です。		
価格	300,000～4,000,000円			

ふりがな	いんきん	ふりがな	いんきん
名称	引金	(別称)	印金
材質	黄銅製など		
大きさ	口径2寸5分～4寸5分		
行事	施餓鬼、お葬式、その他行事		
用途	取っ手のついた鈴。お葬式や大きな行事の時に、導師を先導するときに使ったり、お墓参りの読経の時に		
価格	15,000～60,000円		








## その他本堂

- 仏具**
- ・施餓鬼棚
  - ・施餓鬼幡
  - ・四十九院幡
  - ・五色幕
  - ・施餓鬼桶
  - ・法鼓
  - ・法鼓台
  - ・木版

- その他**
- ・玄関幕
  - ・毛氈
  - ・賽銭箱
  - ・単布団
  - ・二人掛け椅子
  - ・一人掛け椅子



	ふりがな	ほっく	ふりがな	ながどうだいこ
	名称	法鼓	(別称)	長胴太鼓
	材質	樺、松、花梨などに革張り		
	大きさ	身丈1~4尺		
	行事	祝聖、大法要など		
	用途	施餓鬼や春彼岸法要の折に、和尚様方そして導師が本堂に出頭してくる際に打ち鳴らす太鼓です。		
価格	200,000~3,000,000円			




ふりがな	もっばん	ふりがな	かいはん
名称	木版	(別称)	開版
材質	樺製		
大きさ	巾2尺~、厚さ2.5~3寸		
行事	坐禅会		
用途	日中から夜間の修行に移り変わる時に、打ち鳴らされます。圓福寺では、坐禅会が始まる時に打ち鳴らしています。境内に、これから坐禅が始まることを告げます。		
価格	50,000~80,000円		



書院ほか


- 仏像
- ・韋駄天
  - ・烏枢沙摩明王像
  - ・跋陀婆羅菩薩像

- 什具
- ・紫座布団
  - ・座卓
  - ・座布団
  - ・テーブル
  - ・椅子

	ふりがな	いだてん	ふりがな	
	名称	韋駄天	(別称)	
	材質	木彫、彩色したものもある。		
	大きさ	総丈1尺ぐらい		
	行事	朝の勤行、庫裏や台所の守護神		
	用途	禅宗の庫裏に祀られ、台所や庫裏を守る護法神です。韋駄天走りの語源となり、足が速いとさせています。そこで、韋駄天諷経も早くよむことがよいとされています。		
	価格	50,000~100,000円		

ふりがな	うすまみょうおう	ふりがな	
名称	烏枢沙摩明王	(別称)	
材質	木彫		
大きさ	総丈1尺ぐらい		
行事	トイレの守護神		
用途	もとは火神で、烈火で不浄を清めると言われ、転じて不浄を浄化するので、東司(とうす)というトイレの入り口に祀っています。トイレの守護神というので、下半身の病に功德があるという俗信もあります。		
価格	80,000~100,000円		




	ふりがな	ばったばらぼさつ	ふりがな	
	名称	跋陀婆羅菩薩	(別称)	
	材質	柘植や米ヒバなど		
	大きさ	総丈1尺ぐらい		
	行事	お風呂の守護神		
	用途	跋陀婆羅菩薩がお風呂の供養を受けたときに、自分とお湯とが一体であることを悟ったという故事にちなんでお風呂の脱衣場に祀ります。お風呂は体を清浄にするだけでなく、心も清浄にする場所であると考えられています。		
	価格	30,000~100,000円		





# III、お寺のべんり仏具

	ふりがな	かーとりっじしきろうそく
	名称	カートリッジ式ろうそく
	材質	本体:金属製、陶器製など ろう:木ろう、パラフィンなど
	大きさ	高さ17~29cmぐらい
	行事	朝の勤行、本堂法要など
	用途	カートリッジ式のろうを本体の上部にセットして燃やすことで、本体の形はそのままに常に新しいろうそくに火をともしたように見えます。今までのろうそくのように、短くなったろうそくを捨てたりすることもなく、便利です。
価格	50,000~100,000円	

ふりがな		
名称	灰ならしセット	
材質	金属製	
大きさ	大小いろいろ	
行事	香炉掃除	
用途	香炉の灰を掃除する道具です。灰ふるい、灰ならしは香炉の形や大きさに合わせられるようにいろいろなものがあります。香炉によっては、灰を富士山の形に整えるために火箸を使ったりもします。	
価格	37,000円ぐらい	

## ともし火の移り変わり

ともし火は仏前のお供えに欠かせないもので、それまで動物性の灯油を燃やしていましたが、仏教伝来とともに、ツバキなどの植物性灯油が普及しました。その後、江戸時代になると菜種油や綿実油が主になりました。

初めは油そのものを燃やしていましたが、その後、皿に入れた油に灯芯を浸して点火させる**灯明皿**が普及しました。江戸時代には、中国から漆やハゼの実から作るろうそくの技術が伝わり、**和ろうそく**も普及しました。不滅の法燈といつて何百年も絶えていない燈火もありますが、油を継ぎ足す手間は大変だったと思います。また、灯明皿も和ろうそくも灯芯の維持管理が大変だったり、ばい煙による汚れは今からでは想像もできないほどだったと思います。

そこで、石油から作られる**ろうそく**が開発され、仏前のお灯明の主流となりました。

近年では、火を使うことは火災の危険性があるというので、LED照明を使った電気のお灯明なども開発されているようです。

# IV、お寺のこだわり仏具

## お香のいろいろ

樹木内にたまった樹脂が長い年月の間に蓄積、熟成されてできます。沈香は、「沈水香木」の略で、その中で特に香りのいいものは「伽羅」(きゃら)と呼ばれています。

白檀は、幹の芯部分の脂分が芳香をもっているのので、沈香のように加熱しなくても、常温で薫ります。

焼香と言われるお香は、沈香・白檀・桂皮・丁子などを混ぜ合わせたものです。合わせる種類により、五種香、七種香、十種香があり、調合の割合で名前がつけられています。

	伽羅(小割り)
	白檀(小割り)
ふりがな	こうぼく
名称	香木
材質	沈香(じんこう) 白檀(びやくだん)
行事	お参りのとき
価格	伽羅1g 21,000円~ 沈香15g 8,000円~ 白檀30g 2,000円~

ふりがな	じゅっしゅこう
名称	十種香
材質	沈香、白檀、丁子、大茴香(だいういきょう)、鬱金(うこん)、竜腦など
用途	ご法事の時には、仏様によいお香を手向けてほしいと思い、よい香りのお香を用意しております。
価格	300g 20,000円 ~120,000円

# V、お寺で必要な仏像仏具一覧表

品名		数量	単価	金額(円)	
仏像	釈迦三尊像	1組		1,720,000	
	達磨大師像	1体		3,000,000	
	観音菩薩立像	1体		900,000~1,500,000	
	地藏菩薩立像	1体		300,000	
	釈迦苦行像	1体		300,000	
	文殊菩薩立像	1体		300,000	
	韋馱天	1体		50,000~100,000	
	烏枢沙摩明王像	1体		80,000~100,000	
位牌	跋陀婆羅菩薩像	1体		30,000~100,000	
	今上・大檀那・火徳位牌	3基		50,000~80,000	
	歴代位牌	10基		1,000,000	
	祖師位牌	4基		400,000	
	三界萬靈	1基		50,000~80,000	
掛け軸	花園会員先亡	1基		59,600	
	涅槃精舎戒名位牌	1基		200,000	
仏具	十六善神	1巻		500,000~1,000,000	
	涅槃図	1本		1,000,000~2,000,000	
	須弥壇	須弥壇水引	3組		630,000
		壇引き	3間半		1,300,000
		常夜灯	1対		500,000
		五具足	1組		50,000~1,000,000
		三具足	2組	63000	126,000
		献茶湯器	1対		46,000
		高坏	2対	30000	60,000
		柄香炉	1基		20,000
		三宝	8台	20000	160,000
		仏飯器	4台	13300	53,200
		霊供膳	1式		59,500
		湯呑茶碗	3脚	3000	9,000
		茶卓	3脚	7900	23,700
	内陣	前机	1台		1,000,000~2,000,000
		中央香台	1台		350,000~650,000
		常花	1対		300,000~
		水引・戸張	3流れ		1,500,000~5,000,000
		三角打敷	1枚		290,000
		五具足	1組		50,000~1,000,000
		角香炉	4基	12600	50,400
	室中	中央香台香炉	1基		250,000
		拝敷			25,000
		導師見台	1台		200,000
		導師経机			285,000
		曲録	1台		200,000~800,000
		塔婆立	2台	70000	140,000
		櫨製見台	1台		175,000
		櫨製経机	1台		285,000
大磬		1基		100,000~3,000,000	
小磬		1基		50,000	
大玉鱗		1基		300,000~4,000,000	
引金		1本		15,000~60,000	
懺法太鼓		1張		35,000~120,000	
鐺鈸		1鉢		247,000	
その他本堂	拂子	1本		114,000	
	毛氈	30間	17000	510,000	
	施餓鬼棚	1台		500,000	
	施餓鬼桶	1組	54864	54,864	
	法鼓	1基		200,000~3,000,000	
	法鼓台	1台		210,000	
	木版	1基		50,000~80,000	
	賽銭箱	1台		150,000	
	玄関幕	1張		63,000	
	施餓鬼幡	1式		70,000	
	四十九院幡	1式		210,000	
什具	五色幕	11間	10500	115,500	
	単布団	10組	27000	270,000	
	本堂用二人掛け椅子	20脚	23760	475,200	
	本堂用椅子	20脚	10800	216,000	
	紫座布団	3枚	8640	25,920	
	座卓	10台	27000	270,000	
	座布団	30枚	8000	240,000	
テーブル	15台	45000	675,000		
椅子	30脚	8900	267,000		



## VI、仏像仏具篤志寄付の方法

別紙「『圓福寺再建に向けて』——伽藍再建ご協力のお願  
い」では、伽藍再建工事に対してのご寄付のお願いでした。それ  
とは別に、ここまでご紹介させていただいた仏像仏具を購入して  
「禅寺のしつらい」を整えるための浄財を募らせていただきま  
す。なにとぞ、ご協力のほどを重ねてお願い申し上げます。

### ■ ご送金の方法

銀行口座への振込でお願いいたします。

【口座名義】宗教法人 圓福寺

○ 千葉銀行 稲毛東口支店 普通預金 3845400

○ 千葉信用金庫 作草部支店 普通預金 0272200

○ ゆうちょ銀行 10590-87668711

### ■ ご寄付金額

仏像仏具に関してのご寄付は、篤志寄付といたしますの  
で、寄付金額はいくらでも構いません。

### ■ ご寄付期限

篤志でございますので、期限は設けません。

### ■ ご芳名について

仏像仏具に関してのご寄付を下された方のご芳名は、再  
建工事の寄付金とは別の芳名額に記載させていただき、本  
堂内等に掲示させていただきます。

### ■ その他

◎ 領収証がお入用の方は、お寺までお申し出ください。

◎ 原則として、ご寄付にあたって仏像仏具のご指定はで  
きませんが、故人とのご縁やいわれなどによって特定の  
仏像仏具をご寄付されたい場合には、お寺までご相談く  
ださい。

